

KG かながわ第19 回ミニ講演会 報告

日 時:2023 年 3 月 11 日(土)10 時~11 時 30 分

場 所:杉田地区センター

参加者:講演会 31 名(1954~1998 卒 30 名 講師家族 1 名)

講 師:バハット・ジェイ氏(1965 年商学部卒)

テーマ:「博物館と建築家たち」



《はじめに》

今回は博物館の展示デザインの企画から設置に関して長年国内外のプロジェクトに多数、携わって来られたバハット氏に講演を頂きました。コロナ禍でリアルでの開催は 2019 年 9 月以来でしたが会場人数制約が有る中で 30 名余りの皆さんに出席を頂きました。

受付は井村事務局長(77 法)と高沢副支部長(83 文)、司会進行は黒田副支部長(81 社)が担当しました。



ほぼ定刻に会を始め、佐藤支部長(72 経)より講師との「神奈川を楽しむ会」での出会いから本会に至った経緯の紹介を含めた開会挨拶があり、本題講演に移りました。



《講演内容》

(1) バハット氏紹介(司会者より)

1965年関学(商)を卒業後ノースウェスタン大学大学院へ進学。卒後はアメリカの航空会社で市場調査を、その後は医療器具会社では新技術の紹介やマーケティングも担当。

また荒川技研の顧問として博物館の展示デザインの企画から設置にまで携わり、メトロポリタン、スミソニアンなど著名博物館などの新築・改築のプロジェクトに多数関わった。

創作は 16 歳で二科展入選し 2002 年に初個展を開催した。同窓会活動は「サンフランシスコ・シリコンバレー支部」の立ち上げにも尽力。

趣味で東京にある男声合唱団にも所属し今年 5 月のコンサートに向けての練習にも励まれている。



(2) アジェンダ

バハット講師より以下のアジェンダについて映像を使い解説頂いた。

① MUSEUMS

・博物館は広い概念。美術館、動物園、水族館も博物館の中に含まれる。

・美術館がその 50%を占めている。

Cf: Baseball hall of Fame, NY

② BUSINESS

・新しいビジネスモデル・海外では入館料不要で館内の shop やレストランに行ける
入館の目的も様々で展示に関心が無くても来れるようにしている
オープンスペースを広く取る、時間の価値

K12, Curriculum

③ PROJECTS

・荒川技研工業のレール、グリップ、ケーブルを使い展示の企画した

・SMITHSONIAN NATIONAL GALLERY The MET DENVER など



④ ARCHITECTS

- ・内外の著名な建築家の建築物の紹介など
- ・GEHRY,FRANK CARATRAVA ,SANTIAGO PEI,IM ANDO,TADAO SEJIMA NISIKAWA など

⑤ COLLAGE by JAY BAHATT

- ・講師が在米中に学び、渋谷文化村で個展を開かれたことがあるコラージュについていくつかの作品をご紹介します。



(主な質疑)

Q. スミソニアン博物館のゼロ戦の展示はどういう方法で展示しているのか。吊っているのか。

A. 吊っている。

Q. 500mのレールを納品したのは一本のまま納品したのか？

A. 1本 4mくらいに切ったものを納品していると思う。

Q. 無料の美術館でドネーションは必要か

A. 最低少しは必要では

Q. 展示物のセキュリティは？

A. 分かりません。

《おわりに》

4年振りのリアルでのミニ講演会。今回の講演会前の注意事項に「大声での会話自粛」を案内しましたが、講演前や講演後は学生の授業の合間のような賑やかさ。リアルの良さを実感された方が多かったようで、微笑ましく見守るしかありませんでした(笑)。

バハット講師の世界の博物館や建築家たちの綺麗な写真を交えた世界を旅しているような講演にはコロナ禍で海外旅行を自粛されていた皆さんも今度旅行に出かけたらあの博物館に行ってみようなどとお考えになった方も多いのではないかと思います。講演の途中にも参加者に問いかけされたり、展示に使うレールなども回付されて手に触れてもらうなど、とてもよく工夫された講演会だったと思います。参加者からも「バハットさんは背筋がピンと伸びてITを駆使するお姿が素敵」との感想の声も上がっていました。

次回(9月2日)もリアルでの開催を予定していますので是非ご参加をお待ちしています。

以上

【文責・事務局長 井村】

